

景観にさぐる中世：変貌する村の姿と荘園史研究

服部, 英雄
九州大学大学院比較社会文化研究院：教授：日本史

<https://hdl.handle.net/2324/21647>

出版情報：1995-12-20. 新人物往来社
バージョン：
権利関係：



写真2 小山市卒島(第1部第二章55頁) 道場原が新善光寺跡。御正作はその上方(北側)

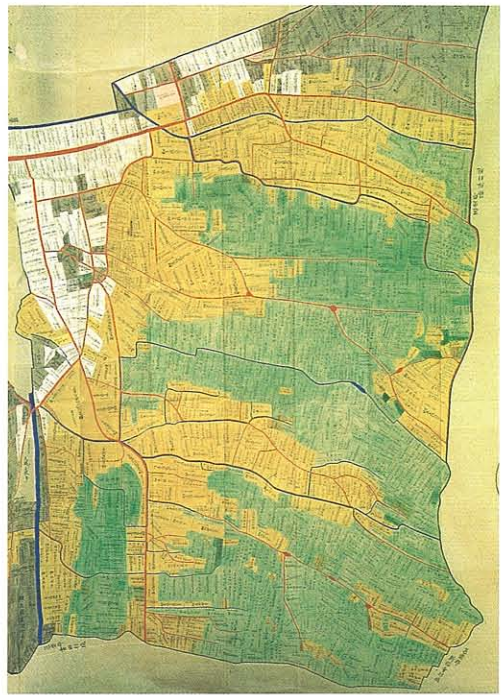


写真1 群馬県下小泉村地籍図(第1部第二章43頁) 大正の耕地整理前の状況がわかる。御正作は中央の青線(水路)のあたり。畑(黄色)となっている微高地にはさまれた湿地帯



写真4 福井庄天満村の近世絵図(第III部第一章298頁) 水路(汐入川)の上方(北側)に築切樋門(3カ所。2カ所が天満村分、1カ所が西土井村分)。中央より下方に菑原樋門がみえる。桃色の部分は畑で中央は「地畑」。南側の茶色の部分は天満集落。畑・宅地は砂堆に立地している

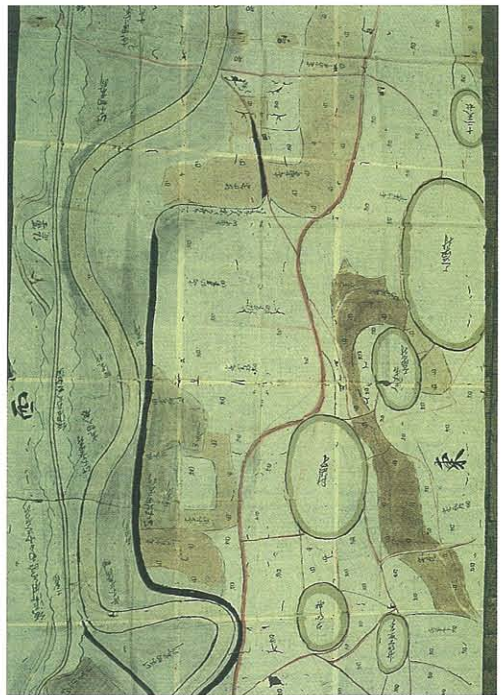


写真3 小山市梁(第1部第二章58頁) 味正作は文字「東」の上方(北側)



写真5 福井庄の砂堆(地畑)(第Ⅲ部第一章 298 頁) 写真4の桃色に塗られた部分に該当する



写真a 荘園の四季(春) 肥前国長嶋庄の芦原(第Ⅲ部第六章)



写真 b 荘園の四季(夏) 播磨国大部庄葉多の中曾根(圃場整備前)(第Ⅲ部第一章二)



写真 c 荘園の四季(夏) 備後国地岨庄の藤木谷(第Ⅲ部第二章二)。屋号安元(手前の茅葺民家)と安国(その隣奥の茅葺民家)



写真 d 荘園の四季(秋) 地毗庄本郷高山門田の故地(圃場整備前)。山は甲山城跡(第Ⅲ部第二章二)



写真 e 荘園の四季(冬) 山城国乙訓郡菱川の尻敷(奥に新幹線)(第Ⅱ部第五章)